

# 川越市駅周辺まちづくりビジョンについて

# 川越市駅周辺まちづくりビジョン

人口減少、少子・超高齢社会の進展など社会情勢の変化



将来にわたり持続可能な都市とするため、特に三駅（川越駅・本川越駅・川越市駅）周辺については、**川越市の中心部としてふさわしいまちづくり**が必要

一方で・・・

**川越市駅周辺は**他2駅の周辺と比較し、様々な要因から、**まちの魅力や可能性が、まだ十分に発揮できていない状況**



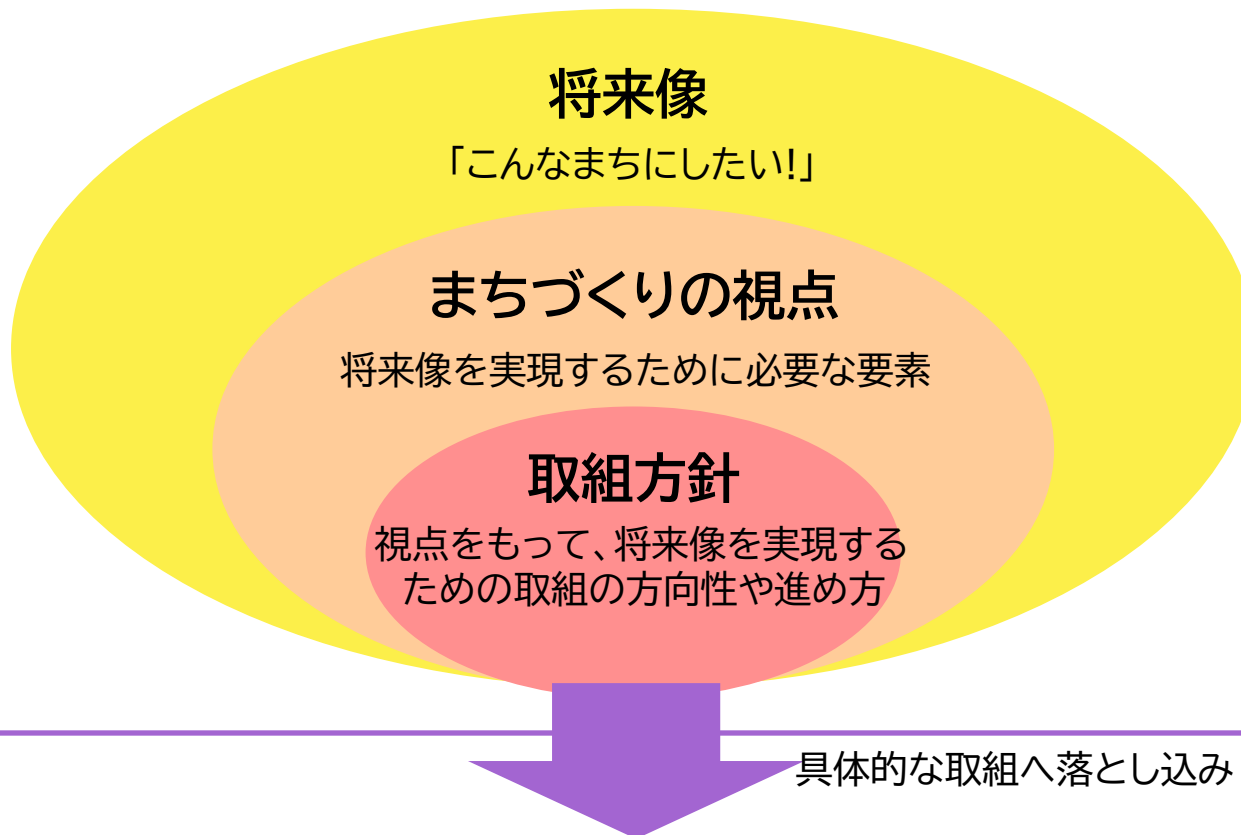
## 川越市周辺まちづくりビジョンとは

川越市駅周辺について、今後のまちづくりを進めるにあたり、関係する市民・行政・事業者等が『目指すべき将来像』を共有し、**協働でまちづくりに取り組むための『共通の指針』**とするもの。

# まちづくりビジョンの構成

## 川越市駅周辺まちづくりビジョン

川越市駅周辺における、共通の将来像・取組方針を示すもの（まちに関わる全ての関係者で共有）



## 個別事業の検討(例)

道路整備

駅舎改良

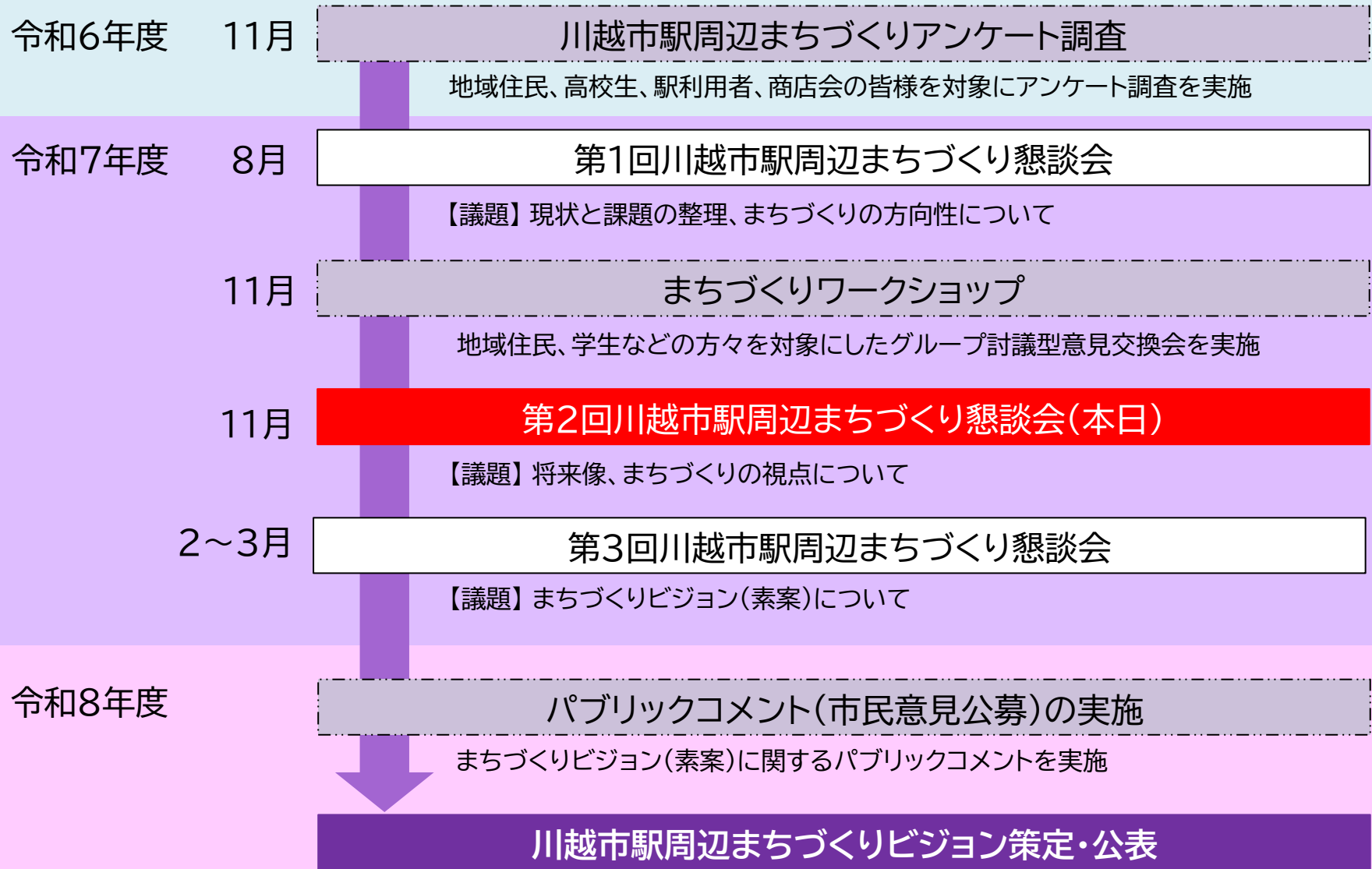
空間整備

地域活動

民間開発

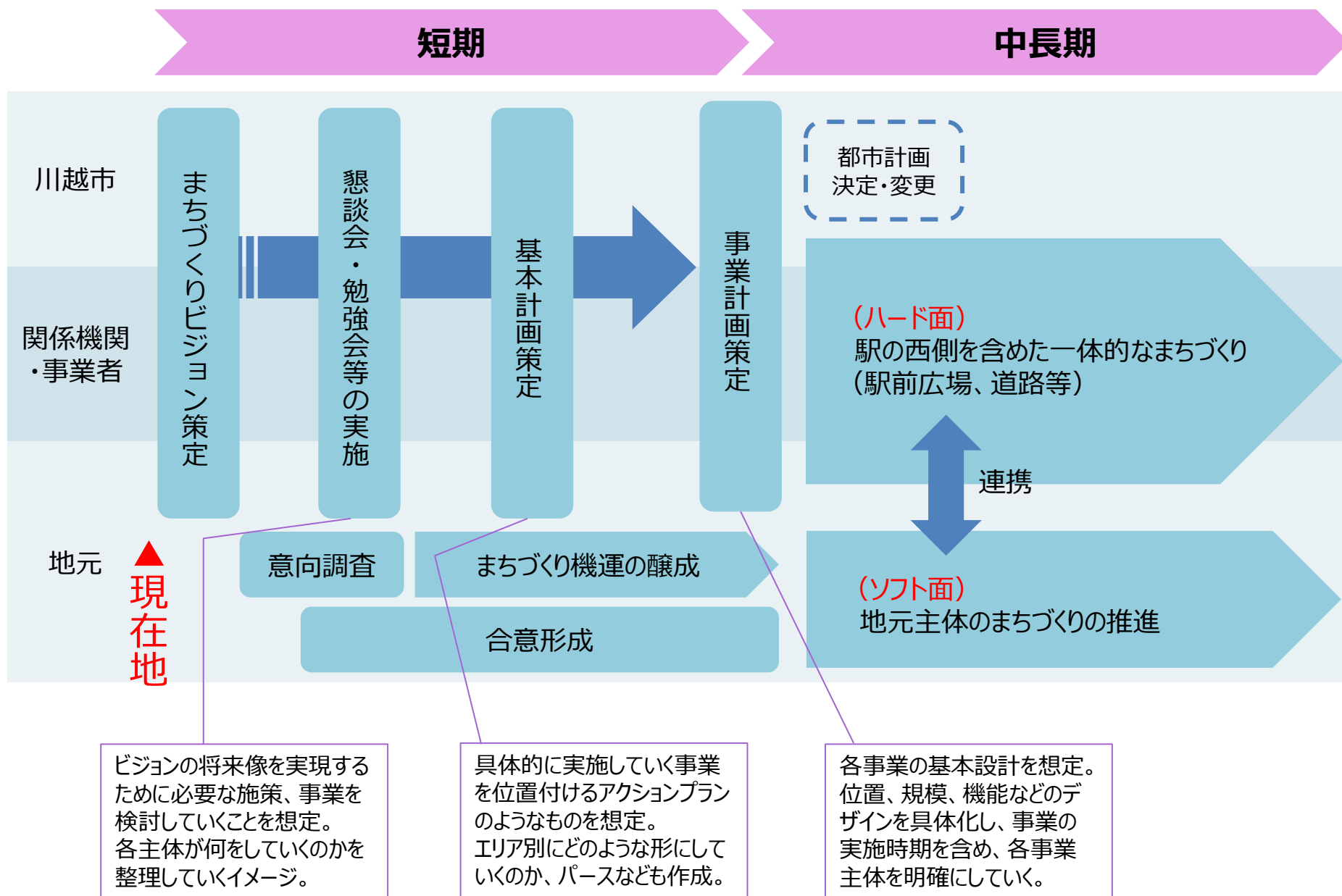
...

# まちづくりビジョン策定の流れ



※時期は現時点の想定であり、前後する場合があります。

# ビジョン策定後の取り組みイメージ



# 川越市駅周辺まちづくりワークショップ 開催結果(概要)

開催日時	令和7年11月9日(日)9:30~12:10
開催場所	すくすくかわごえ 4階多目的室
参加者	市民:15名 学生:8名 計23名
テーマ	「川越市駅周辺の魅力・課題」「10年後の将来像」

## 【当日の様子】

### 1. 大学の先生による挨拶・講話 (東洋大学大澤先生・日本大学三友先生)



### 2. グループワーク



### 3. 発表・講評



# 川越市駅周辺まちづくりワークショップ 開催結果(概要)

## 1. 川越市駅周辺の魅力・課題について

### (1)魅力

- ① 閑静な住宅地であり、治安が良好である。
- ② 文教のまちとしてのポテンシャルが高く、学校が多い。
- ③ 始発駅かつ複数路線に乗車可能であり、都心へのアクセスも良好である。
- ④ 他二駅(川越駅・本川越駅)と比較して、居住者の生活を軸にした落ち着いたエリアである。 等

### (2)課題

- ① 歩行空間や道路、踏切における安全性が低い。
- ② カフェや広場など、滞在できる居場所となる空間が不足している。
- ③ スーパーマーケットなどが少なく、買い物や生活利便性が低い。
- ④ 子育て・高齢者支援環境が不十分で、脆弱である。 等

## 2. 10年後の将来像について

【A班】:安らぎ、自然と人が集まる街

【B班】:地域と調和した、文教都市と鉄道を活かしたまちづくり

【C班】:分断解消 東西連携→人の流れを変える→空間・場所の活用→学生・若者→起業・スタートアップ

【D班】:品のあるにぎやかさ、あるきやすい、暮らしやすい・住み続けたい、一体性のあるまち、  
ひとのつながり

【E班】:子育てしやすい、高齢者・全世代が住みやすい、住民を中心とした駅  
ビジョン作成後も住民の意見をつのり、育てていくまちづくりを  
ブラッシュアップしていくまちづくり